社内ドキュメントのAI検索システム チャット上で質問すれば即座に回答

ビジネスセンター岡山

ビジネスセンター岡山㈱（岡山市）は、4月15日、生成AIを活用した社内ドキュメントの検索システム「ナレッジコンシェルジュ」の提供を開始した。

社内規定や過去の見積書、ISO関連文書などワードやPDF形式のドキュメントファイルをアマゾン社のクラウドサーバー「AWS」に保存し、サーバー内のAIシステムで学習させることで必要な情報を導き出すサービス。導入すれば、総務担当者の社内問い合わせ対応に掛かる時間やストレスを削減できる。

マイクロソフト社のチャットツール「Teams」と連動し、「出張精算の計算方法を教えて?」、「A社の過去の見積もりどうだった?」、「ISO規程の変更に当たって、該当する個所は?」などと質問すれば即座に回答が表示される。AIが推測して誤って回答しないよう、情報がないものは答えないよう設定。回答に情報元データのリンクを付け、原本からも確認できるようにした。

初期費用55万円。月額料金は、ドキュメント容量50GBで月間質問数300件程度の場合11万円。同社では「文書を探すのにかかる時間は、1日1人1時間とも言われている。業務効率化に役立ててもらいたい」としている。